



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月31日

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 業務部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 橋本 淳
(氏名) 岸本 一人
TEL 0569-72-1231
配当支払開始予定日 2023年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,792	1.6	317	31.3	389	27.0	252	32.3
2023年3月期第2四半期	6,902	8.5	462	34.4	533	30.5	373	29.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	36.35	
2023年3月期第2四半期	53.69	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	25,026	21,933	87.6	3,156.92
2023年3月期	24,534	21,652	88.3	3,116.45

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 21,933百万円 2023年3月期 21,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		20.00	40.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	6.1	630	29.4	740	26.8	520	23.9	74.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	8,832,311 株	2023年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,884,481 株	2023年3月期	1,884,341 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	6,947,915 株	2023年3月期2Q	6,948,074 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に変更されたことにより経済活動の正常化が進んだ一方、円安傾向の継続及びロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源並びに原材料価格の高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、消費者の購買行動はコロナ禍以前の状態に戻りつつあるものの、継続する物価上昇による消費意欲の減退、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格や燃料費の高騰は続くと思われ、厳しい経営環境が続いていくと見込まれます。

このような状況の中で、当社は独自技術からの新たな食文化の創造を基本戦略とし、取引先への積極的な製品提案、開発体制の強化とともに、最適な設備投資と業務の効率化・適正な生産体制を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は6,792百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は317百万円（前年同期比31.3%減）、経常利益は389百万円（前年同期比27.0%減）、四半期純利益は252百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、液体添付スープの売上が順調に伸び、売上高は2,259百万円（前年同期比7.5%増）となりましたが、原材料費高騰の影響が大きくセグメント利益は75百万円（前年同期比58.1%減）となりました。

粉体部門は、顆粒製品の受託が伸び、売上高は2,217百万円（前年同期比21.0%増）、セグメント利益は101百万円（前年同期比70.7%増）となりました。

チルド食品部門は、受託は順調に推移し、売上高は937百万円（前年同期比2.7%増）となりましたが、セグメント利益は132百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

即席麺部門は、カップ麺の受託製品が減少し、売上高は807百万円（前年同期比47.2%減）、セグメント利益は0百万円（前年同期比98.4%減）となりました。

その他は、水産物の取扱量が増加し、売上高は571百万円（前年同期比8.0%増）となりましたが、セグメント利益は7百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産の部は25,026百万円となり、前事業年度末と比べ491百万円増加しました。これは主に、建物（純額）が181百万円、機械及び装置（純額）が171百万円、固定資産その他（純額）が61百万円、投資有価証券が239百万円増加し、現金及び預金が202百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,093百万円となり、前事業年度末と比べ211百万円増加しました。これは主に、その他に含まれる未払金が145百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は21,933百万円となり、前事業年度末と比べ280百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が113百万円、その他有価証券評価差額金が167百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ962百万円減少し、8,316百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は493百万円となり、前年同期と比べ147百万円（23.0%）の減少となりました。主な要因は、税引前四半期純利益360百万円、減価償却費266百万円による資金の増加、並びに棚卸資産の増加75百万円、仕入債務の減少44百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,316百万円となり、前年同期と比べ1,077百万円（449.1%）の増加となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出896百万円、有形固定資産の取得による支出532百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は139百万円となり、前年同期と比べ0百万円（0.1%）の支出増となりました。なお、財務活動による支出は、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,503	9,300
売掛金	1,825	1,817
商品及び製品	472	510
仕掛品	17	25
原材料及び貯蔵品	273	303
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	100	139
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	17,685	17,589
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,001	2,182
機械及び装置（純額）	1,200	1,371
その他（純額）	1,684	1,745
有形固定資産合計	4,886	5,300
無形固定資産	67	60
投資その他の資産		
投資有価証券	1,605	1,845
その他	289	231
投資その他の資産合計	1,895	2,077
固定資産合計	6,849	7,437
資産合計	24,534	25,026

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,174	1,129
リース債務	1	1
未払法人税等	78	138
賞与引当金	171	172
役員賞与引当金	7	5
その他	479	670
流動負債合計	1,912	2,116
固定負債		
リース債務	2	2
退職給付引当金	961	968
役員退職慰労引当金	4	5
固定負債合計	969	976
負債合計	2,881	3,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	22,309	22,423
自己株式	△3,457	△3,457
株主資本合計	21,173	21,286
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	479	647
評価・換算差額等合計	479	647
純資産合計	21,652	21,933
負債純資産合計	24,534	25,026

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	6,902	6,792
売上原価	6,006	6,049
売上総利益	896	742
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	156	145
賞与引当金繰入額	23	21
役員賞与引当金繰入額	1	5
退職給付費用	13	11
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
その他	239	241
販売費及び一般管理費合計	434	425
営業利益	462	317
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	45	44
雑収入	17	17
営業外収益合計	76	73
営業外費用		
賃貸費用	2	1
雑支出	2	0
営業外費用合計	4	1
経常利益	533	389
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
固定資産撤去費用	1	24
特別損失合計	2	28
税引前四半期純利益	531	360
法人税、住民税及び事業税	136	122
法人税等調整額	21	△14
法人税等合計	158	108
四半期純利益	373	252

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	531	360
減価償却費	265	266
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2	7
前払年金費用の増減額 (△は増加)	2	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
有形固定資産除却損	0	4
有形固定資産撤去費用	1	24
受取利息及び受取配当金	△58	△56
売上債権の増減額 (△は増加)	616	7
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△58	△75
仕入債務の増減額 (△は減少)	△371	△44
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4	—
長期前払費用の増減額 (△は増加)	3	△0
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18	△38
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△88	46
小計	793	502
利息及び配当金の受取額	58	56
法人税等の支払額	△212	△65
営業活動によるキャッシュ・フロー	640	493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196	△896
定期預金の払戻による収入	136	136
有形固定資産の取得による支出	△179	△532
有形固定資産の売却による収入	0	—
有形固定資産の除却による支出	△1	△24
その他の支出	△0	△0
その他の収入	2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239	△1,316
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△138	△138
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	261	△962
現金及び現金同等物の期首残高	9,230	9,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,492	8,316

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	2,101	1,832	912	1,527	6,373	529	6,902
外部顧客への売上高	2,101	1,832	912	1,527	6,373	529	6,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,101	1,832	912	1,527	6,373	529	6,902
セグメント利益	179	59	149	64	453	8	462

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	2,259	2,217	937	807	6,221	571	6,792
外部顧客への売上高	2,259	2,217	937	807	6,221	571	6,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,259	2,217	937	807	6,221	571	6,792
セグメント利益	75	101	132	0	310	7	317

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。